

5 都市農業の振興について

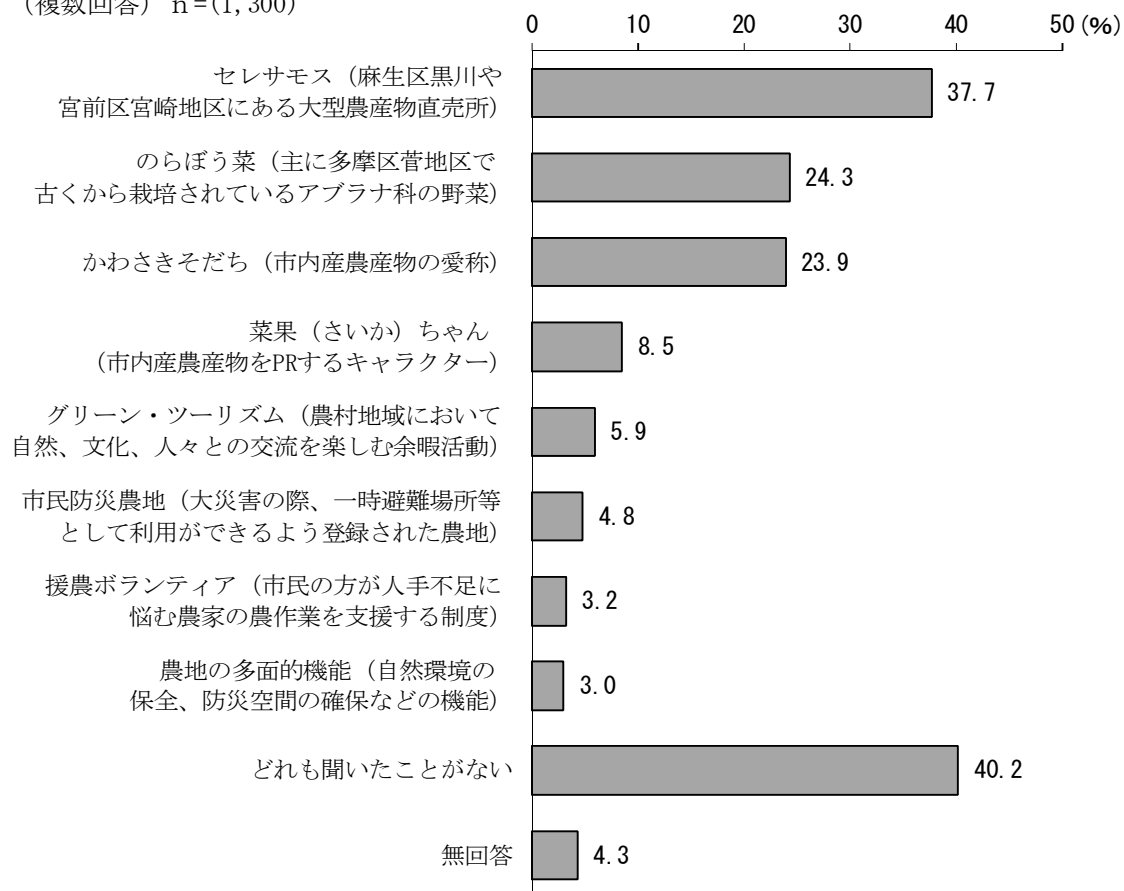
5-1 川崎の農業に関する言葉の認知度

◎「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」が37.7%

問9 あなたは、川崎の農業に関する次の言葉を知っている、または、聞いたことがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

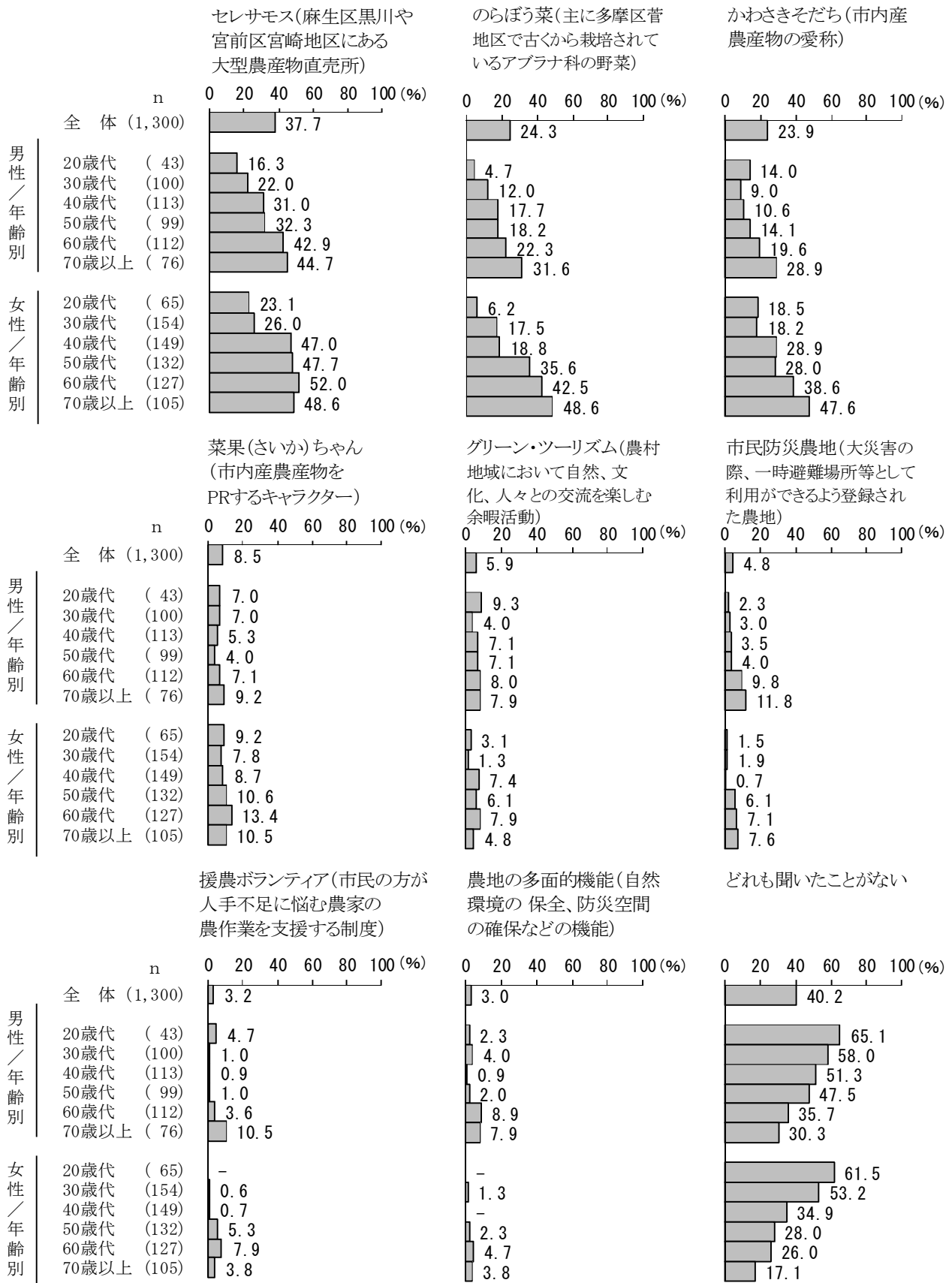
図表5-1 川崎の農業に関する言葉の認知度

(複数回答) n=(1,300)



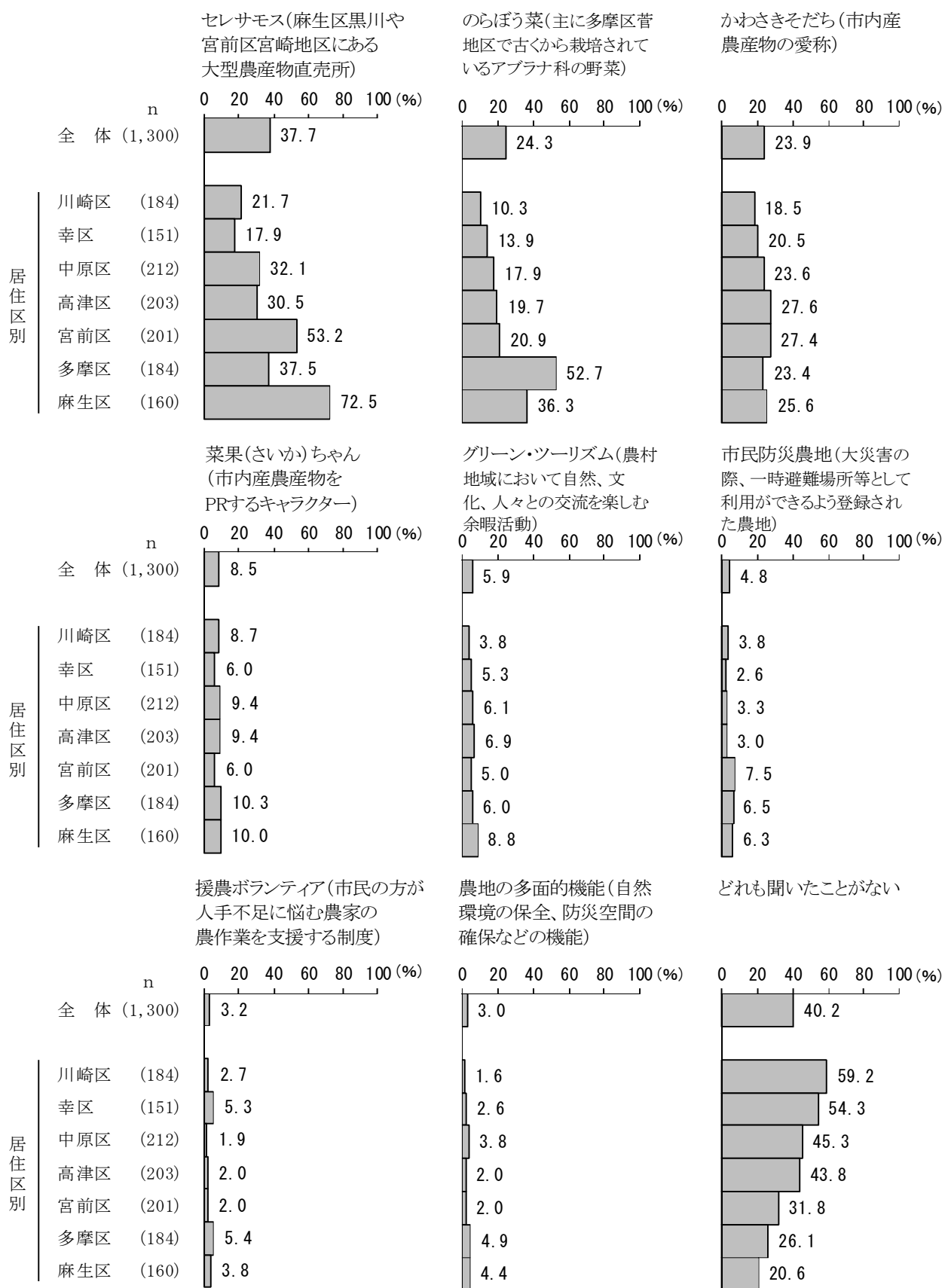
川崎の農業に関する言葉で知っているものは、「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」(37.7%) が最も高く、次いで「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」(24.3%)、「かわさきそだち（市内産農作物の愛称）」(23.9%) の順となっている。

図表5-2 川崎の農業に関する言葉の認知度（性／年齢別）



性／年齢別では、「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」は、女性の60歳代（52.0%）、70歳以上（48.6%）、50歳代（47.7%）の順で高い。「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」は、女性の70歳以上（48.6%）、60歳代（42.5%）、50歳代（35.6%）の順で高い。

図表5-3 川崎の農業に関する言葉の認知度（居住区別）



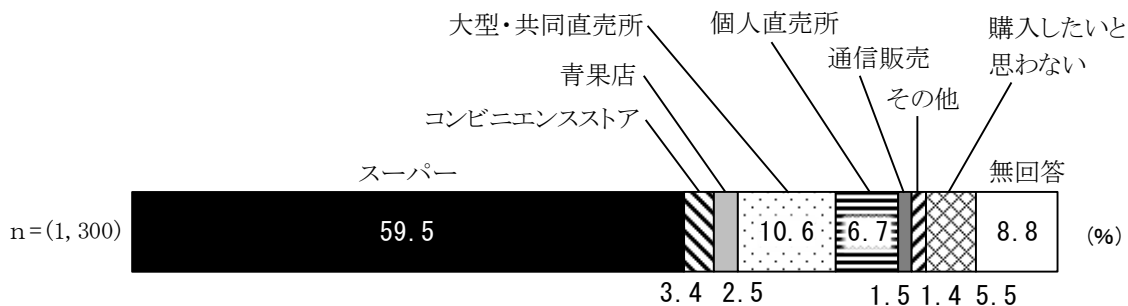
居住区別では、セレサモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）は、麻生区（72.5%）、宮前区（53.2%）の順で高い。「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」は、多摩区（52.7%）で最も高い。

5-2 市内産農産物を購入したい場所

◎「スーパー」が59.5%

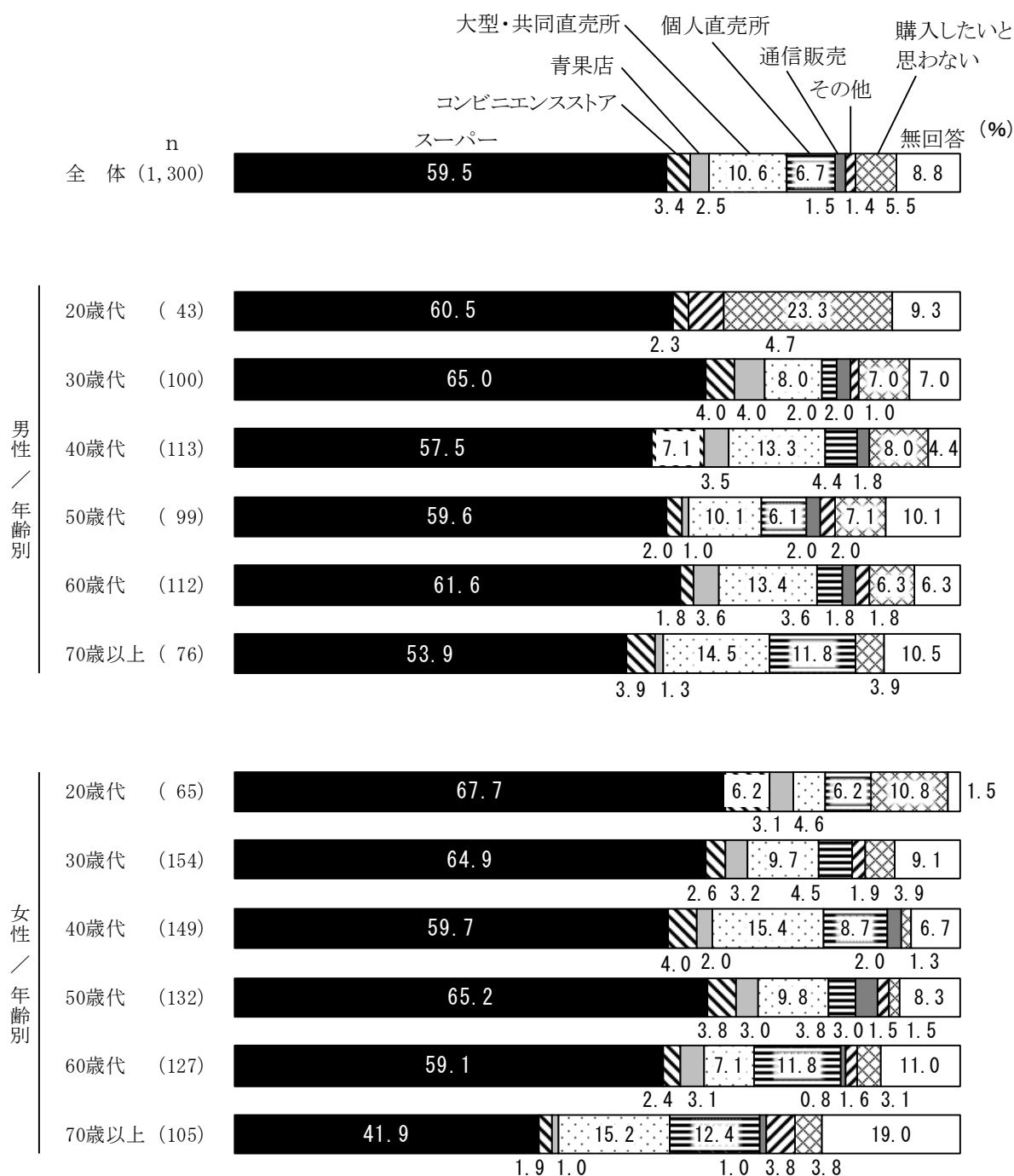
問 10 地産地消の拠点施設である大型農産物直売所「セレスモス（宮前店）」が宮前区宮崎に今年
の秋にオープンしましたが、あなたは、市内産農産物をどのようなところ（方法）で購入
したいですか。（○は1つだけ）

図表 5-4 市内産農産物を購入したい場所



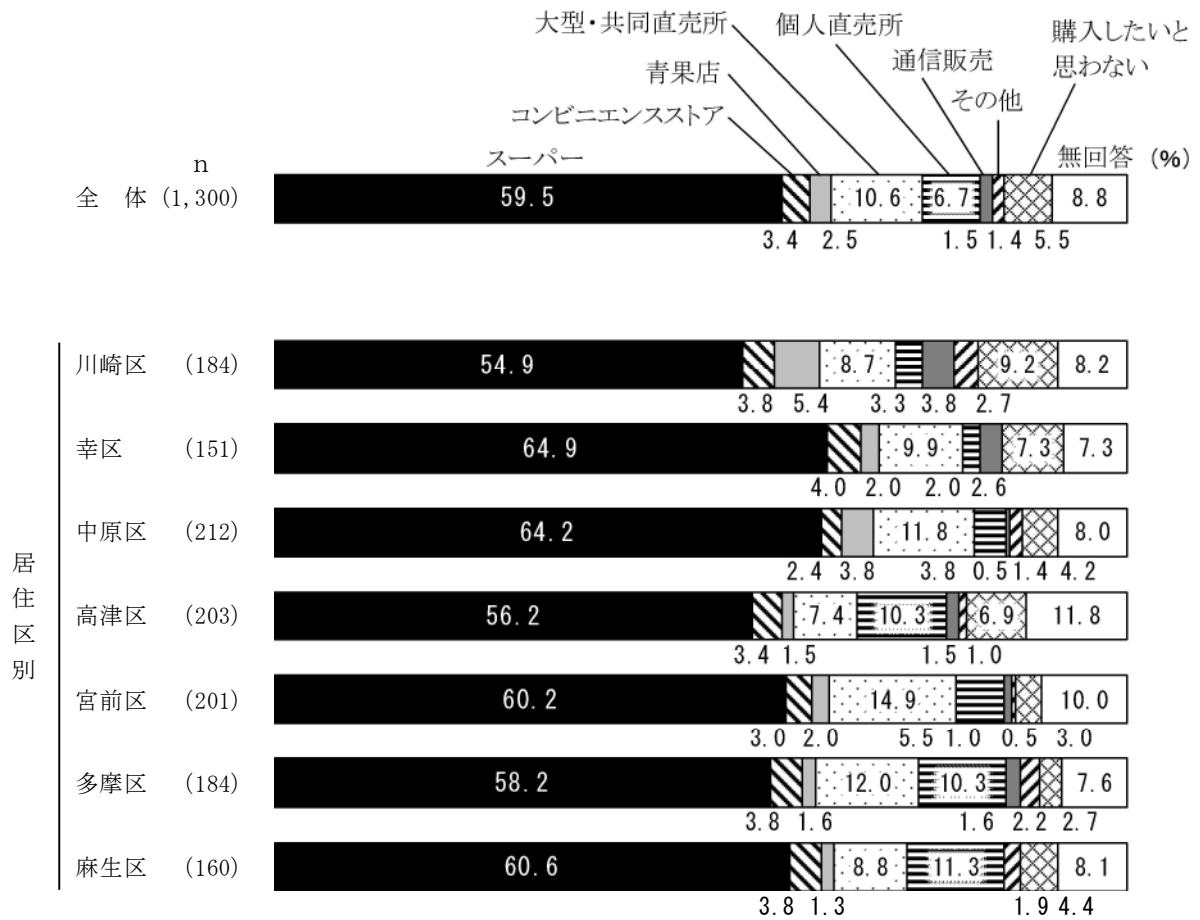
市内産農産物を購入したい場所は、「スーパー」（59.5%）が最も高く、次いで「大型・共同直売所」（10.6%）、「個人直売所」（6.7%）、「コンビニエンスストア」（3.4%）、「青果店」（2.5%）の順となっている。

図表 5-5 市内産農産物を購入したい場所（性／年齢別）



性／年齢別では、「スーパー」は、女性の20歳代(67.7%)、50歳代(65.2%)、男性の30歳代(65.0%)の順で高い。「大型・共同直売所」は、女性の40歳代(15.4%)、70歳以上(15.2%)、男性の70歳以上(14.5%)の順で高い。

図表 5-6 市内産農産物を購入したい場所（居住区別）



居住区別では、「スーパー」は、幸区（64.9%）が最も高く、「大型・共同直売所」は、宮前区（14.9%）、多摩区（12.0%）、中原区（11.8%）の順で高い。「個人直売所」は、麻生区（11.3%）が最も高く、次いで高津区及び多摩区（10.3%）の順となっている。

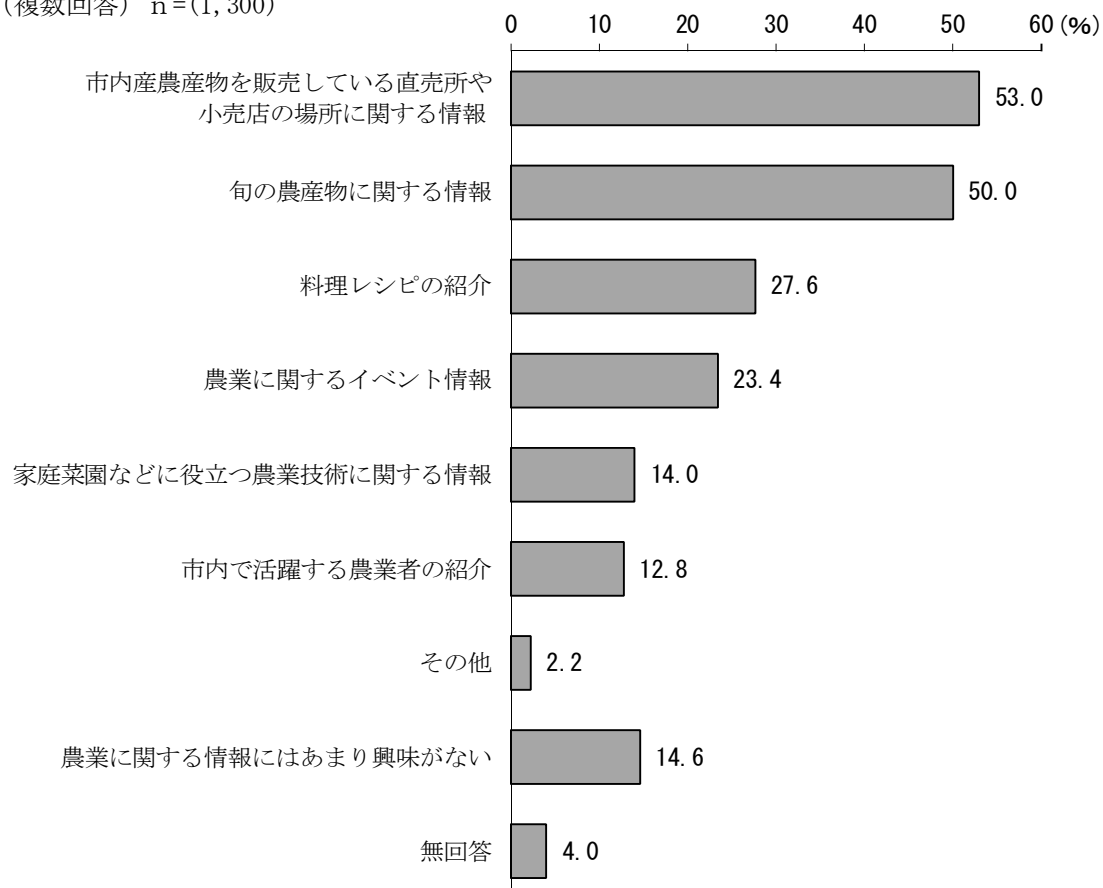
5-3 川崎の農業に関する興味のある情報

◎「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」が53.0%

問 11 川崎市では、都市農業を理解し、応援する市民の方が増えることが、市内農業の活性化につながることを考え、農業に関する情報発信を市民の方に対して行っています。あなたは、川崎の農業に関するどのような情報に興味がありますか。(あてはまるもの全てに○)

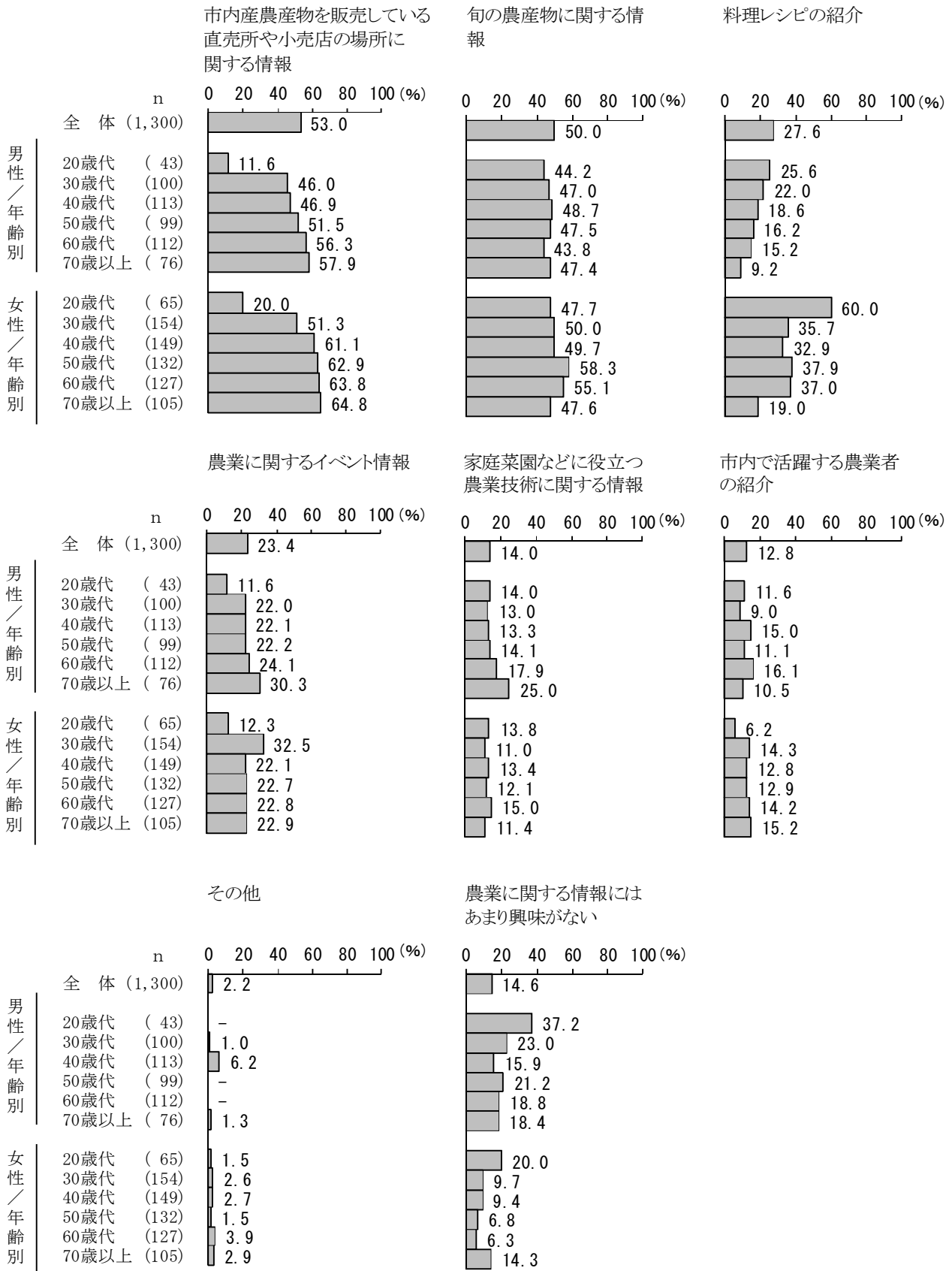
図表 5-7 川崎の農業に関する興味のある情報

(複数回答) n=(1,300)



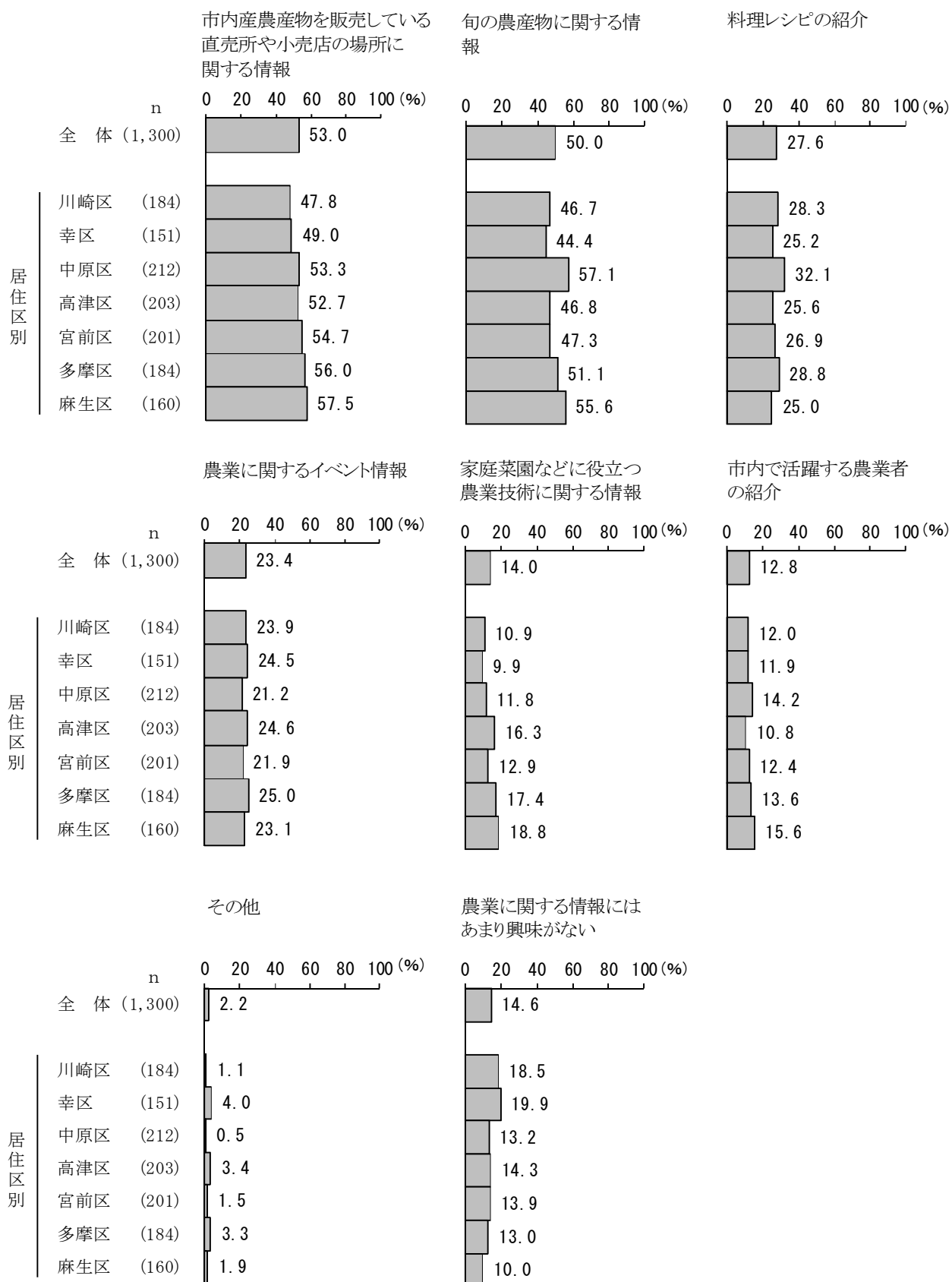
川崎の農業に関する興味のある情報は、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」(53.0%)が最も高く、次いで「旬の農作物に関する情報」(50.0%)、「料理レシピの紹介」(27.6%)の順となっている。

図表5-8 川崎の農業に関する興味のある情報（性／年齢別）



性／年齢別では、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」は、男女ともに年齢が高くなるほど割合が高くなり、女性の70歳以上（64.8%）が最も高い。「旬の農作物に関する情報」は、女性の50歳代（58.3%）、60歳代（55.1%）、30歳代（50.0%）の順で高い。「料理レシピの紹介」は、女性20歳代（60.0%）が最も高い。

図表5-9 川崎の農業に関する興味のある情報（居住区別）



居住区別では、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」は、麻生区（57.5%）が最も高い。「旬の農作物に関する情報」は、中原区（57.1%）で最も高く、「料理レシピの紹介」は、中原区（32.1%）、多摩区（28.8%）、川崎区（28.3%）の順となっている。

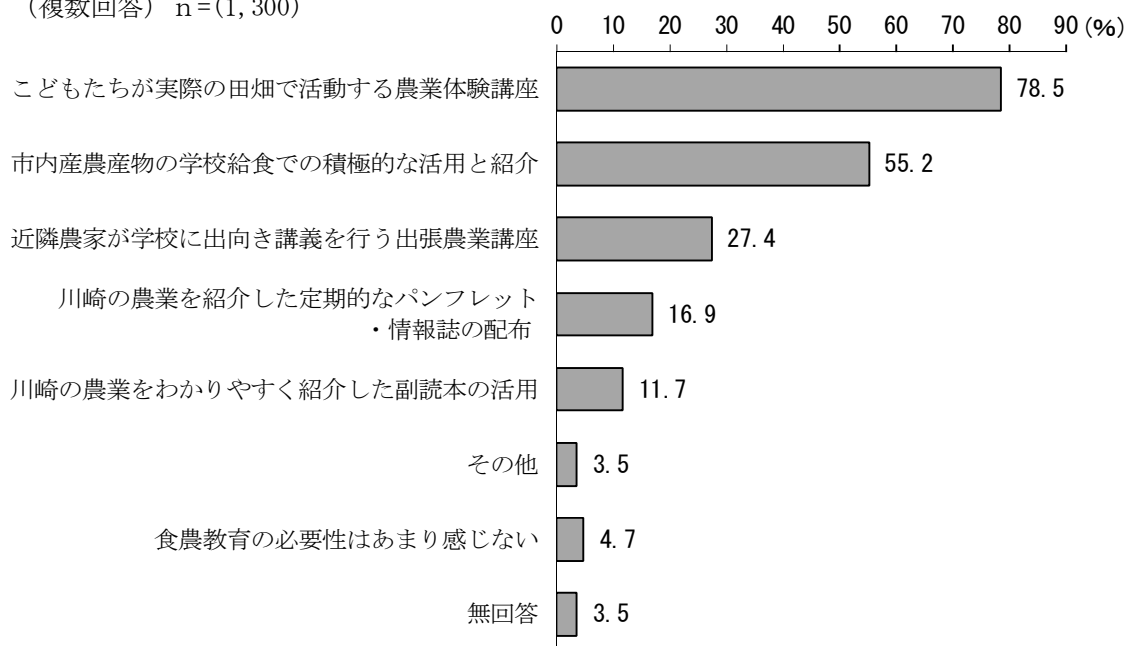
5-4 効果的な「食農教育」

◎「こどもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」が78.5%

問12 川崎市では、川崎の農業を理解し、応援する市民の方を増やすために、次の世代を担うこどもたちを対象に「食」や「農業」の大切さなどを伝える「食農教育」に取り組んでいます。あなたは、どのような方法で「食農教育」を行えば、こどもたちにより効果的に伝わるとおもいますか。(あてはまるもの全てに○)

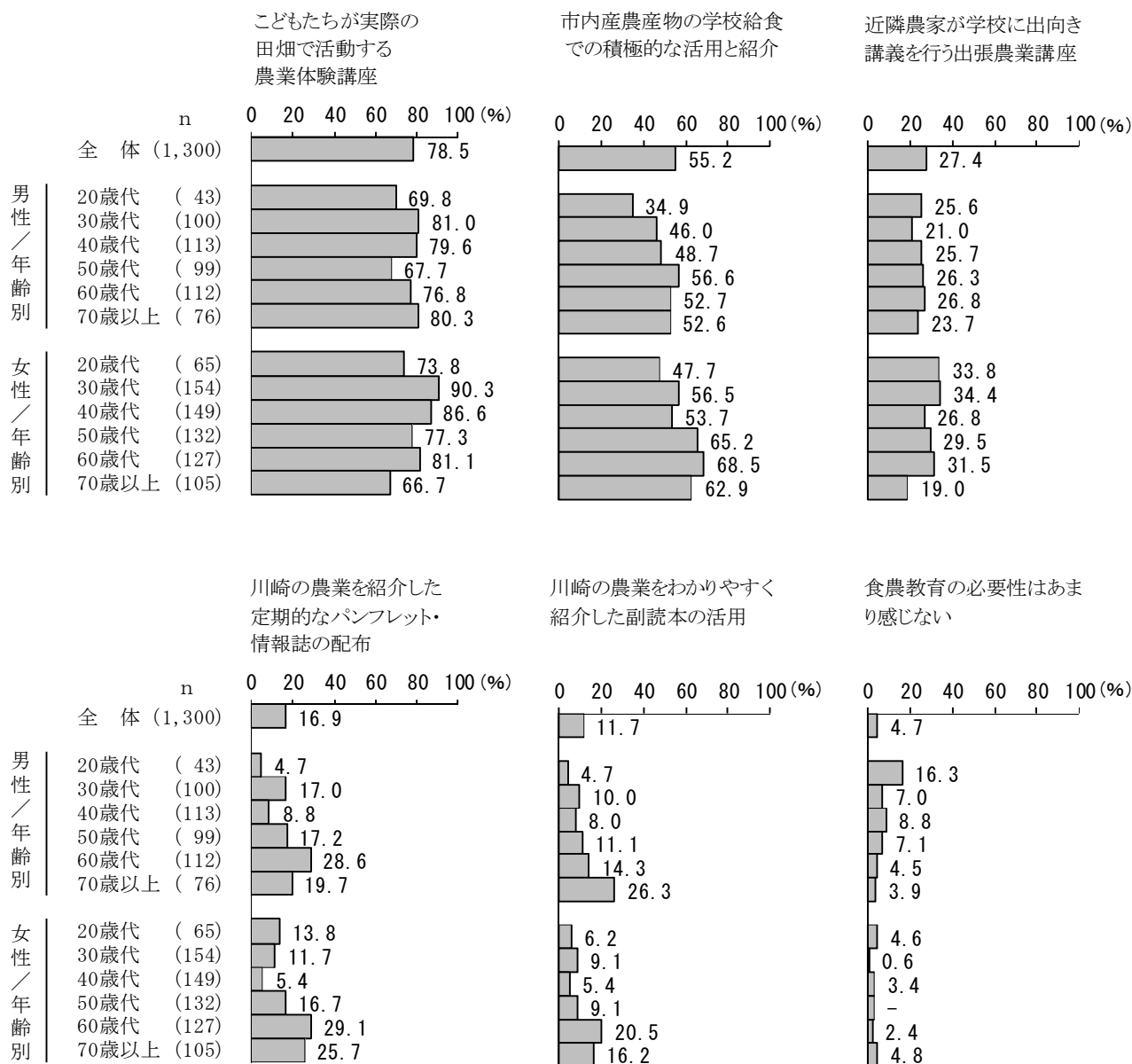
図表5-10 効果的な「食農教育」

(複数回答) n=(1,300)



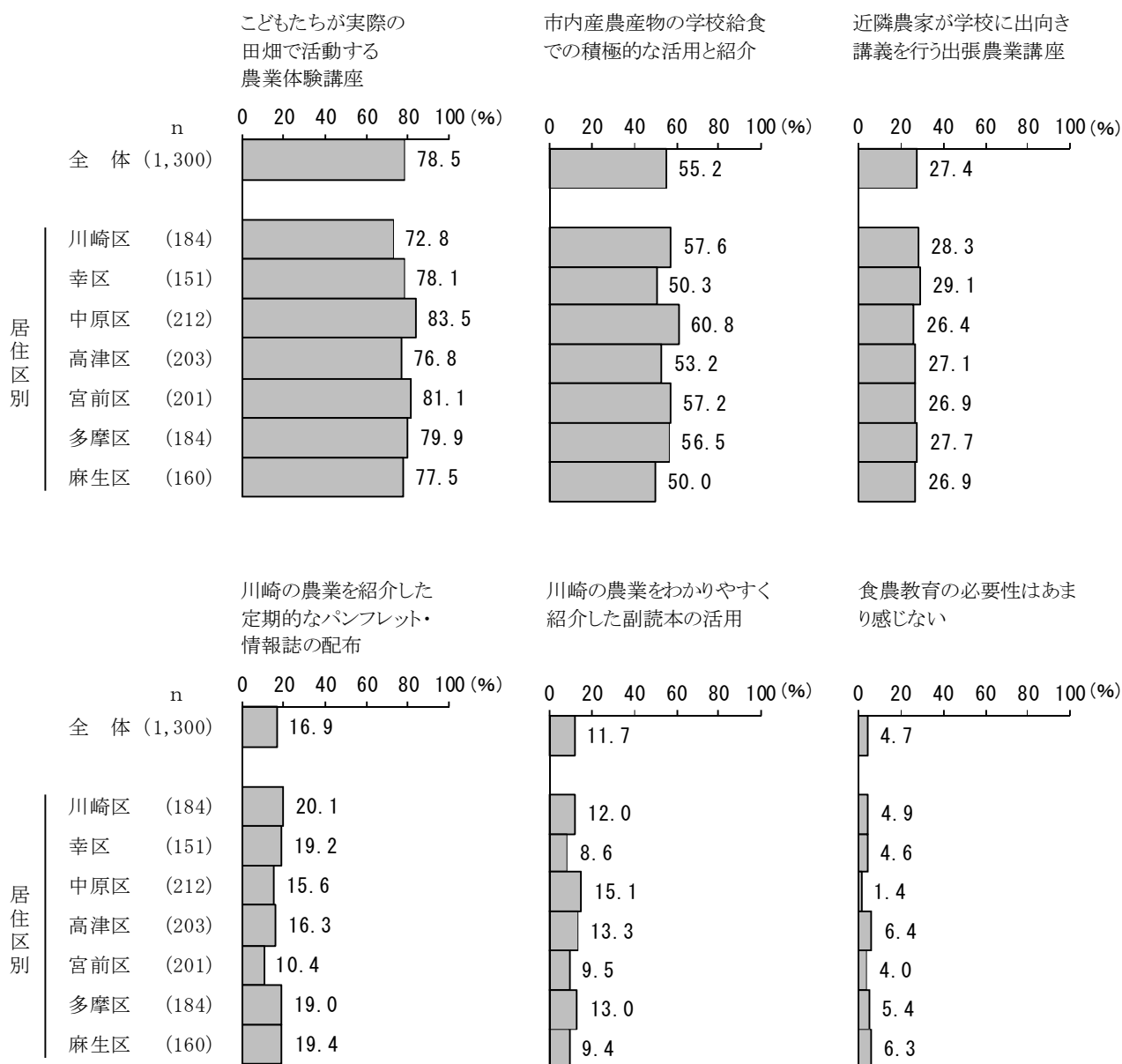
効果的な「食農教育」は、「こどもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」(78.5%)が最も高く、次いで「市内産農作物の学校給食での積極的な活用と紹介」(55.2%)、「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」(27.4%)の順となっている。

図表5-11 効果的な「食農教育」方法（性／年齢別）



性／年齢別では、「子どもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」は、女性の30歳代(90.3%)、40歳代(86.6%)、60歳代(81.1%)の順で高い。「市内産農産物の学校給食での積極的な活用と紹介」は、女性の60歳代(68.5%)、50歳代(65.2%)の順で高い。「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」は、女性の30歳代(34.4%)、20歳代(33.8%)の順で高い。

図表5-12 効果的な「食農教育」方法（居住区別）



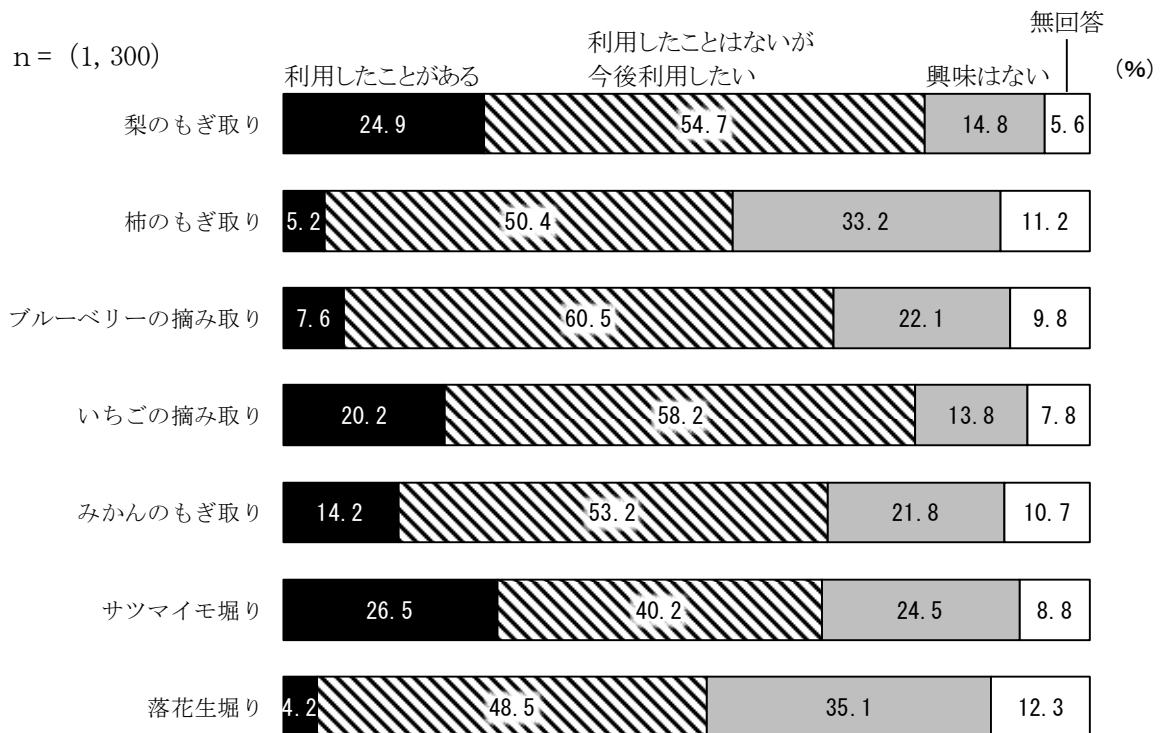
居住区別では、「子どもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」は、中原区（83.5%）、宮前区（81.1%）の順で高い。「市内産農産物の学校給食での積極的な活用と紹介」は、中原区（60.8%）、川崎区（57.6%）、宮前区（57.2%）の順で高い。「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」は、幸区（29.1%）が最も高い。

5-5 観光農園の利用経験と今後の利用意向

◎観光農園の利用経験は、「サツマイモ掘り」が26.5%

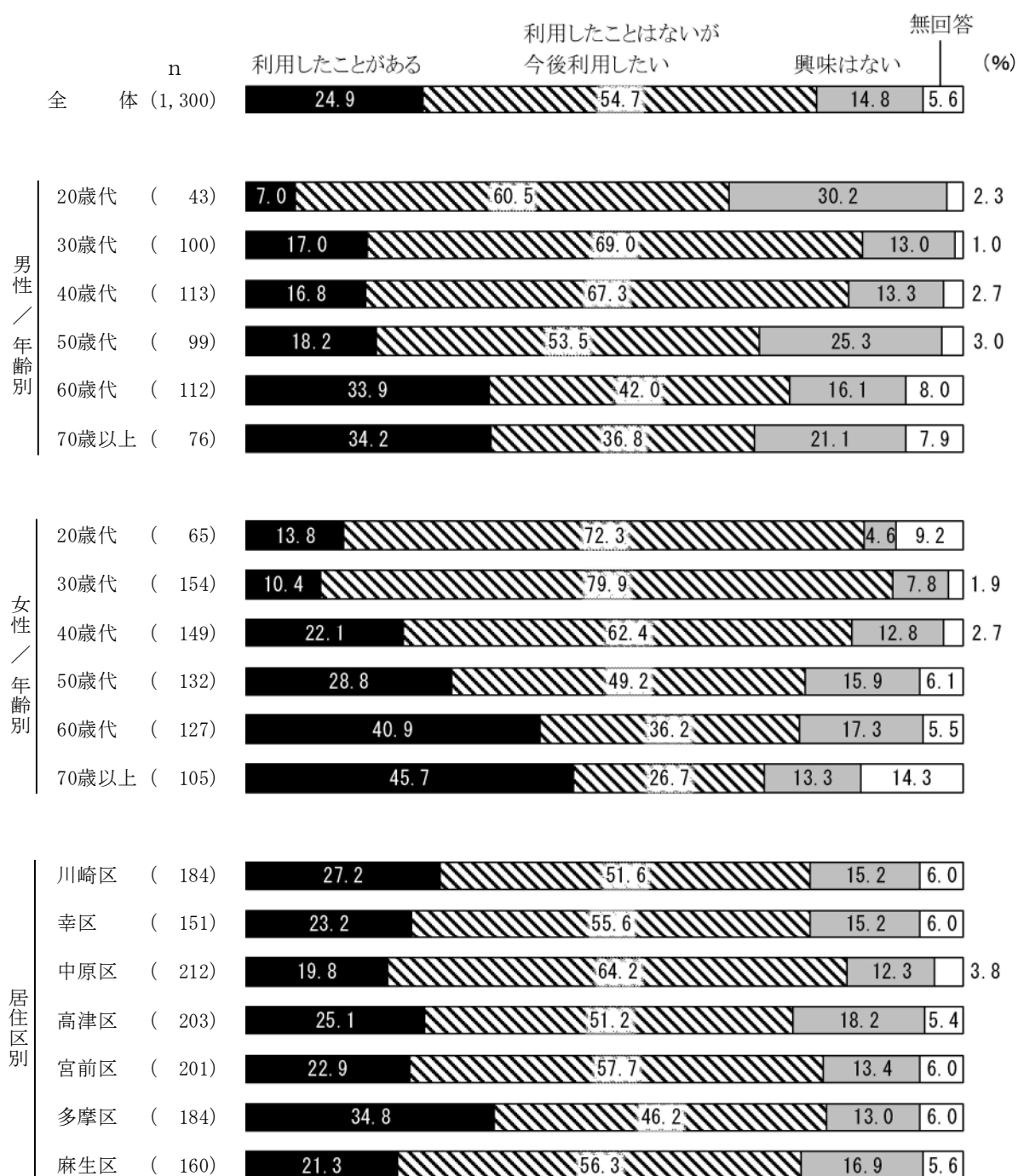
問 13 川崎市では、梨のもぎ取りやブルーベリーの摘み取り、サツマイモ掘りなど、下記のような観光農園があります。あなたは、そのような観光農園を利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。川崎市以外のものも含めてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表 5-13 観光農園の利用経験と今後の利用意向



観光農園の利用経験は、「サツマイモ掘り」(26.5%)、「梨のもぎ取り」(24.9%)の順となっている。今後の利用意向については、「ブルーベリーの摘み取り」(60.5%)、「いちごの摘み取り」(58.2%)の順となっている。

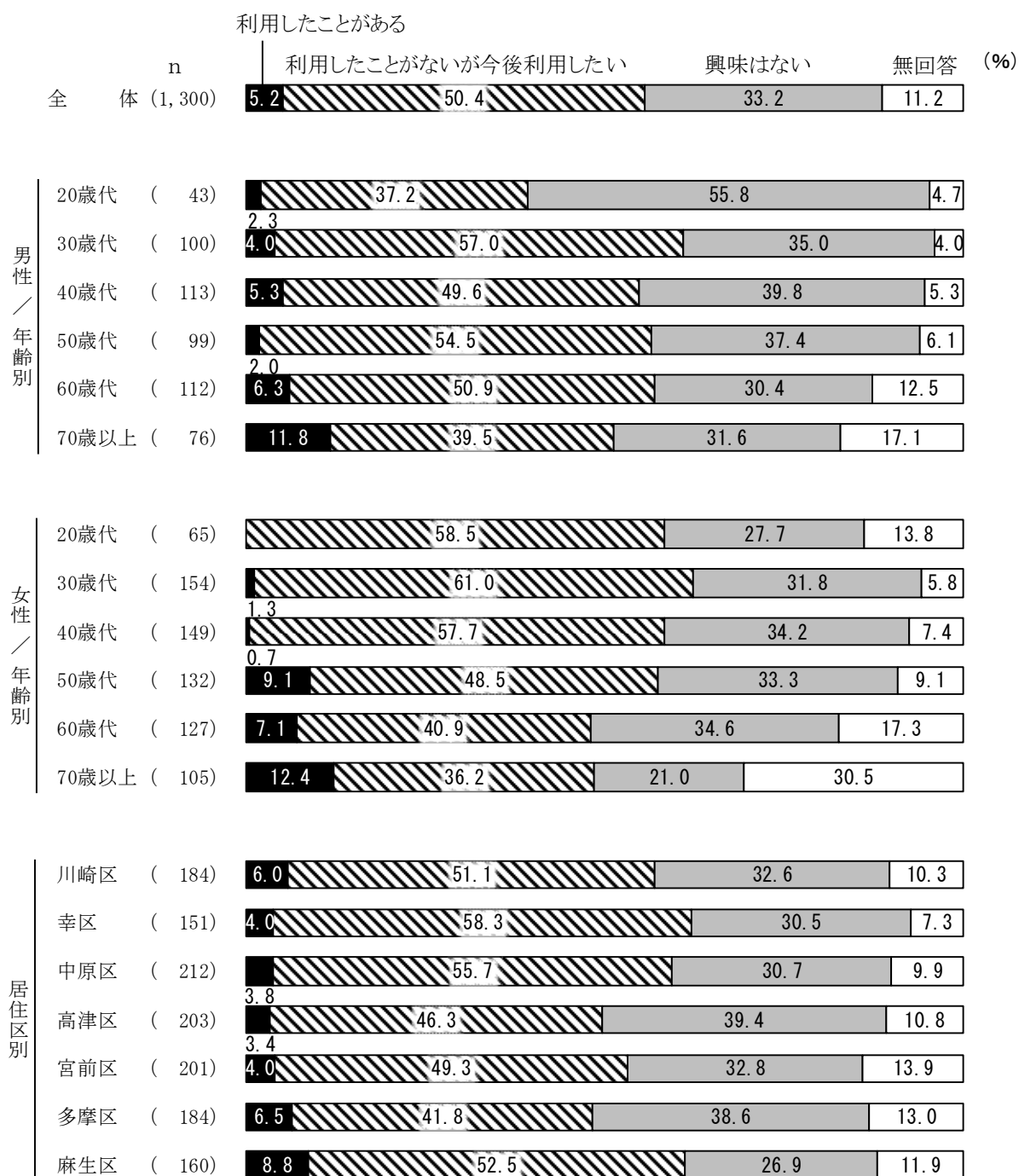
図表5-14 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ①梨のもぎ取り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(45.7%)、60歳代(40.9%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(79.9%)、20歳代(72.3%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、多摩区(34.8%)で最も高く、次いで川崎区(27.2%)、高津区(25.1%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用してみたい」は、中原区(64.2%)が最も高く、次いで宮前区(57.7%)、麻生区(56.3%)の順となっている。

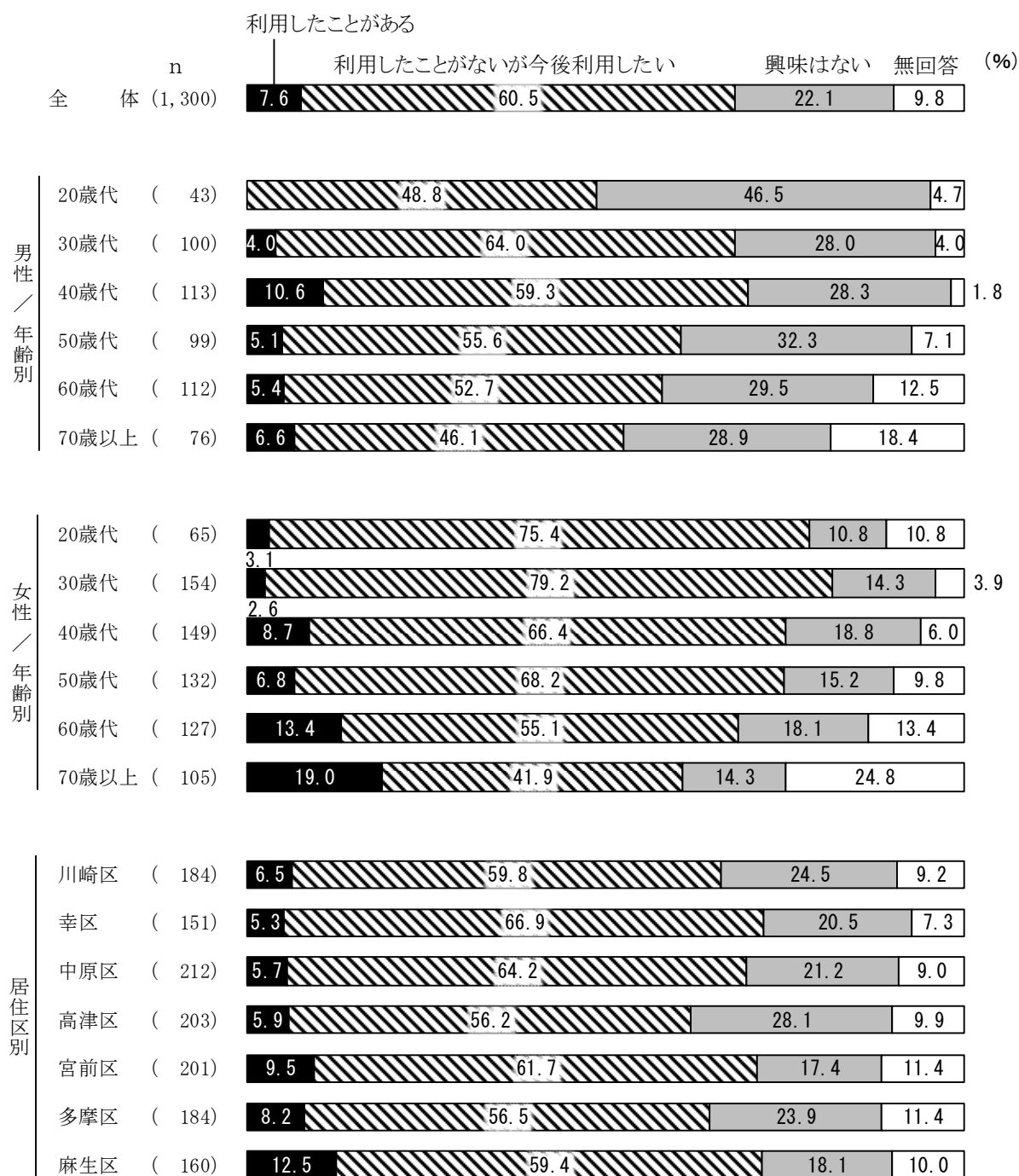
図表 5-15 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ②柿のもぎ取り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(12.4%)、男性の70歳以上(11.8%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(61.0%)、20歳代(58.5%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(8.8%)で最も高く、次いで多摩区(6.5%)、川崎区(6.0%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(58.3%)が最も高く、次いで中原区(55.7%)、麻生区(52.5%)の順となっている。

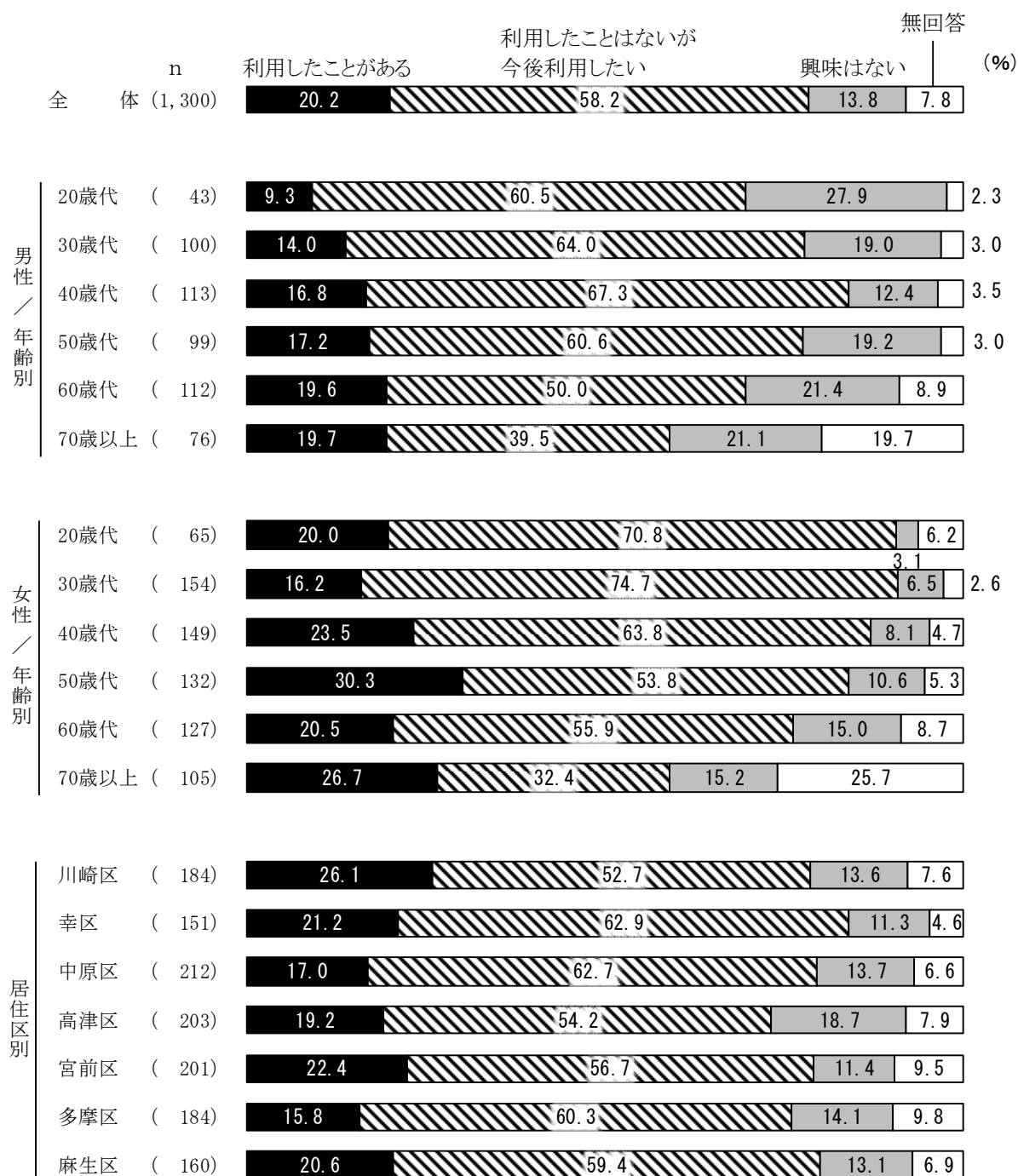
図表5-16 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ③ブルーベリーの摘み取り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(19.0%)、60歳代(13.4%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(79.2%)、20歳代(75.4%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(12.5%)で最も高く、次いで宮前区(9.5%)、多摩区(8.2%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(66.9%)が最も高く、次いで中原区(64.2%)、宮前区(61.7%)の順となっている。

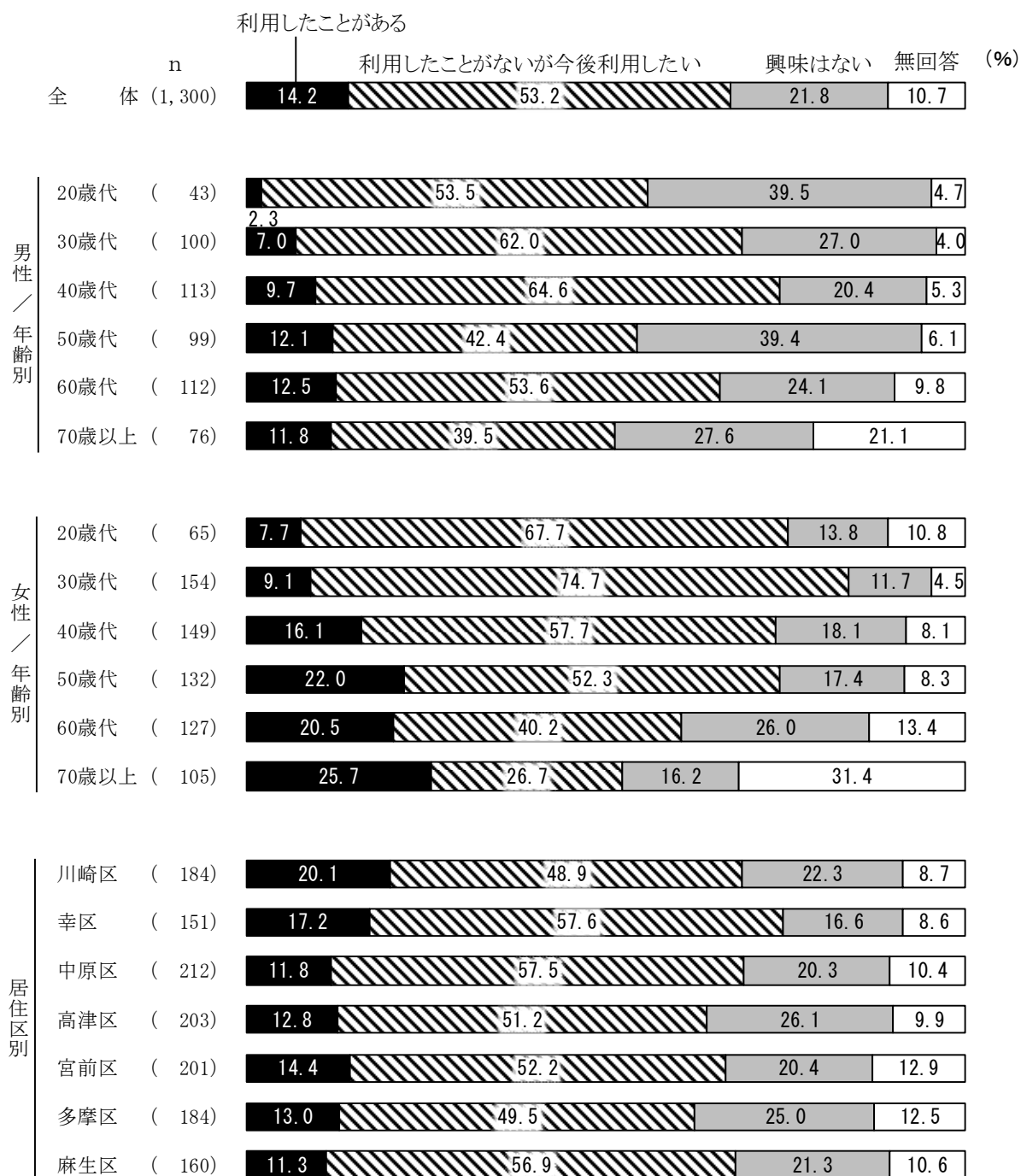
図表5-17 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ④いちごの摘み取り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の50歳代(30.3%)、70歳以上(26.7%)、40歳代(23.5%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(74.7%)、20歳代(70.8%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、川崎区(26.1%)で最も高く、次いで宮前区(22.4%)、幸区(21.2%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(62.9%)が最も高く、次いで中原区(62.7%)、多摩区(60.3%)の順となっている。

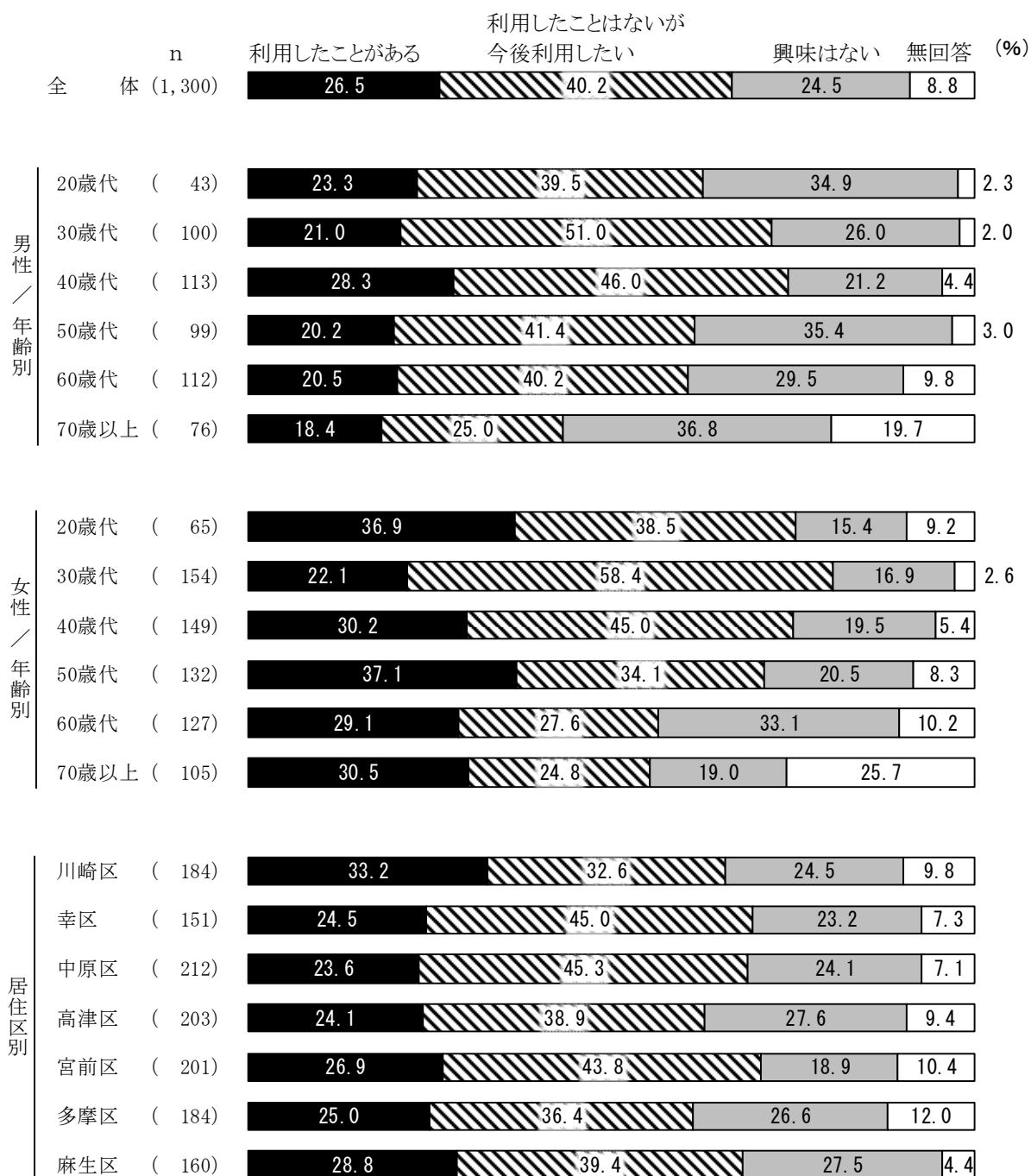
図表 5-18 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑤みかんのもぎ取り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は、女性の70歳以上(25.7%)、50歳代(22.0%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(74.7%)、20歳代(67.7%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、川崎区(20.1%)で最も高く、次いで幸区(17.2%)、宮前区(14.4%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(57.6%)が最も高く、次いで中原区(57.5%)、麻生区(56.9%)の順となっている。

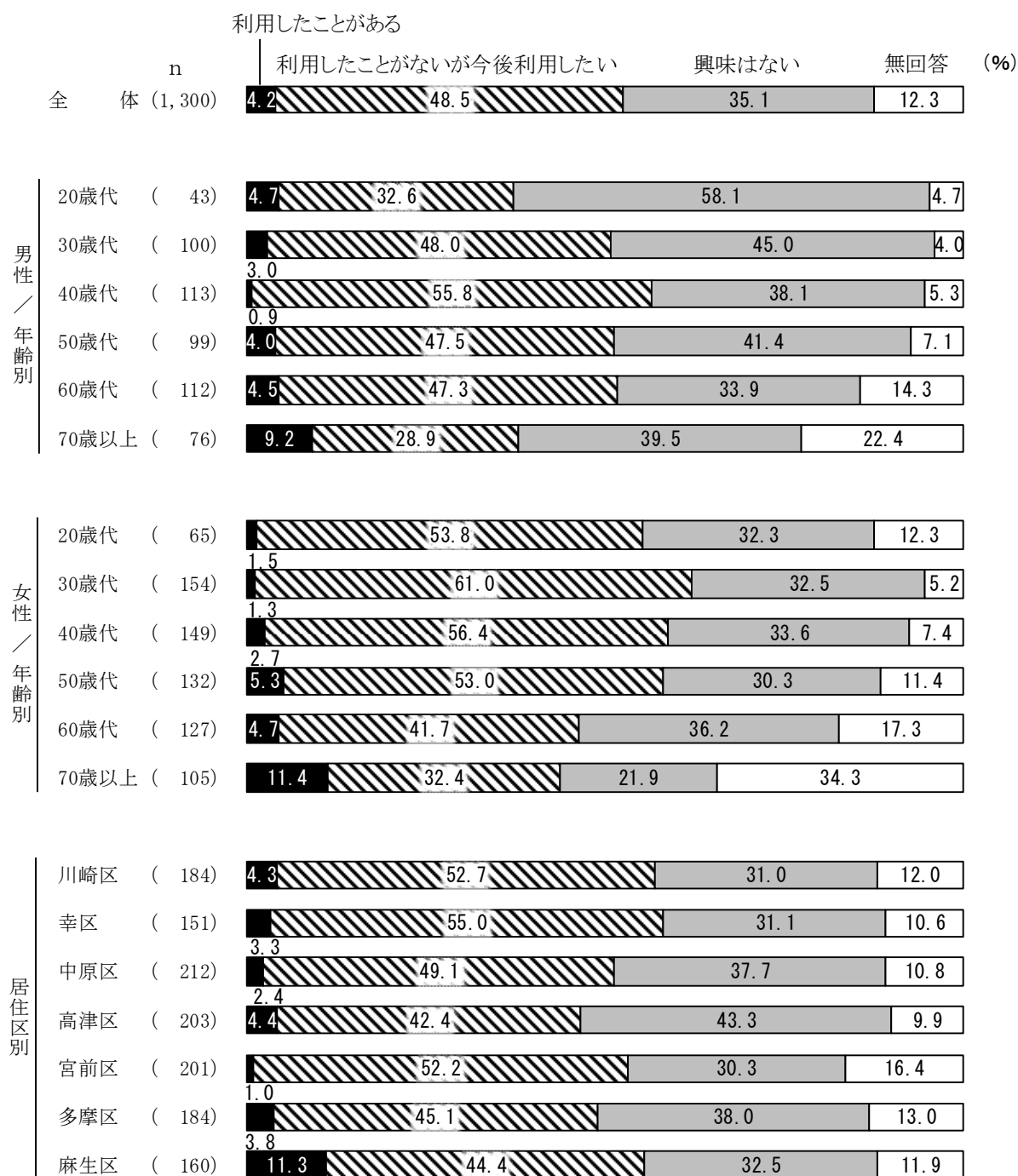
図表5-19 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑥サツマイモ掘り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は、女性の50歳代(37.1%)、20歳代(36.9%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(58.4%)、男性の30歳代(51.0%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、川崎区(33.2%)で最も高く、次いで麻生区(28.8%)、宮前区(26.9%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、中原区(45.3%)が最も高く、次いで幸区(45.0%)、宮前区(43.8%)の順となっている。

図表5-20 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑦落花生掘り
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(11.4%)、男性の70歳以上(9.2%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(61.0%)、40歳代(56.4%)の順で高い。

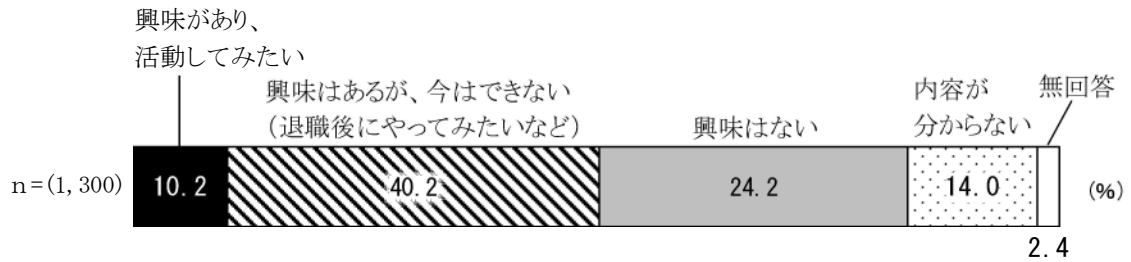
居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(11.3%)で最も高く、次いで高津区(4.4%)、川崎区(4.3%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(55.0%)が最も高く、次いで川崎区(52.7%)、宮前区(52.2%)の順となっている。

5-6 援農に対する興味

◎「興味はあるが、今はできない（退職後にやってみたいなど）」が40.2%

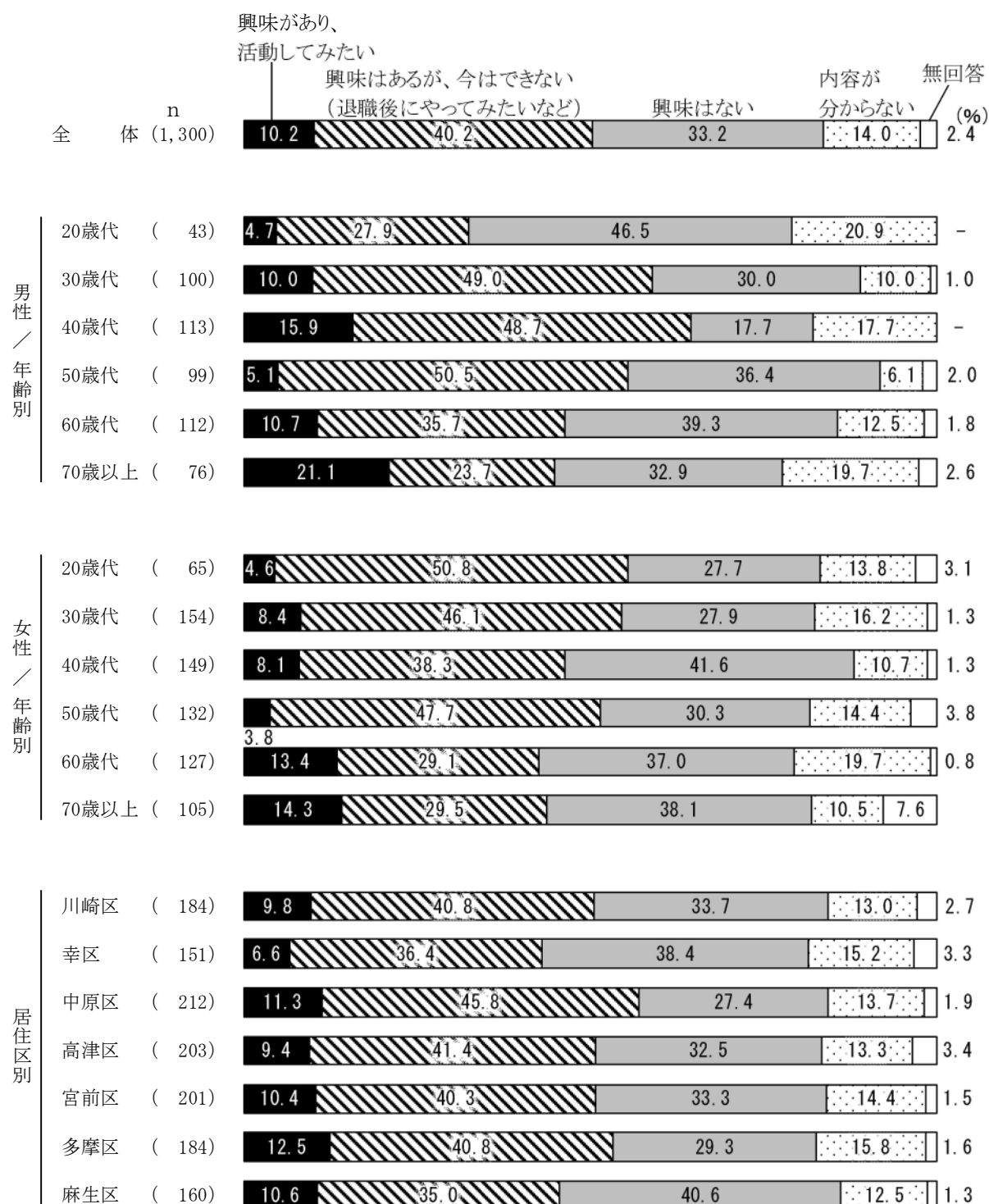
問 14 川崎市では、農家を手助けしたい（援農）と思う市民の方に対して栽培等の技術を支援し、修了後は実際の援農活動ができるような支援を行っています。あなたは、援農に興味がありますか。（○は1つだけ）

図表5-21 援農に対する興味



援農に対する興味は、「興味はあるが、今はできない（退職後にやってみたいなど）」（40.2%）で最も高く、次いで「興味はない」（33.2%）、「内容がわからない」（14.0%）、「興味があり、活動してみたい」（10.2%）の順となっている。

図表 5-22 援農に対する興味（性／年齢別、居住区別）



性／年齢別では、「興味があり、活動してみたい」は、男性70歳代(21.1%)で最も高く、次いで男性40歳代(15.9%)、女性70歳代(14.3%)の順となっている。「興味はあるが、今はできない(退職後にやってみたいなど)」は女性の20歳代(50.8%)、男性50歳代(50.5%)の順で高い。

居住区別では、「興味があり、活動してみたい」は、多摩区(12.5%)で最も高く、次いで中原区(11.3%)、麻生区(10.6%)の順となっている。「興味はあるが、今はできない(退職後にやってみたいなど)」は、中原区(45.8%)が最も高く、次いで高津区(41.4%)、川崎区と多摩区(40.8%)の順となっている。

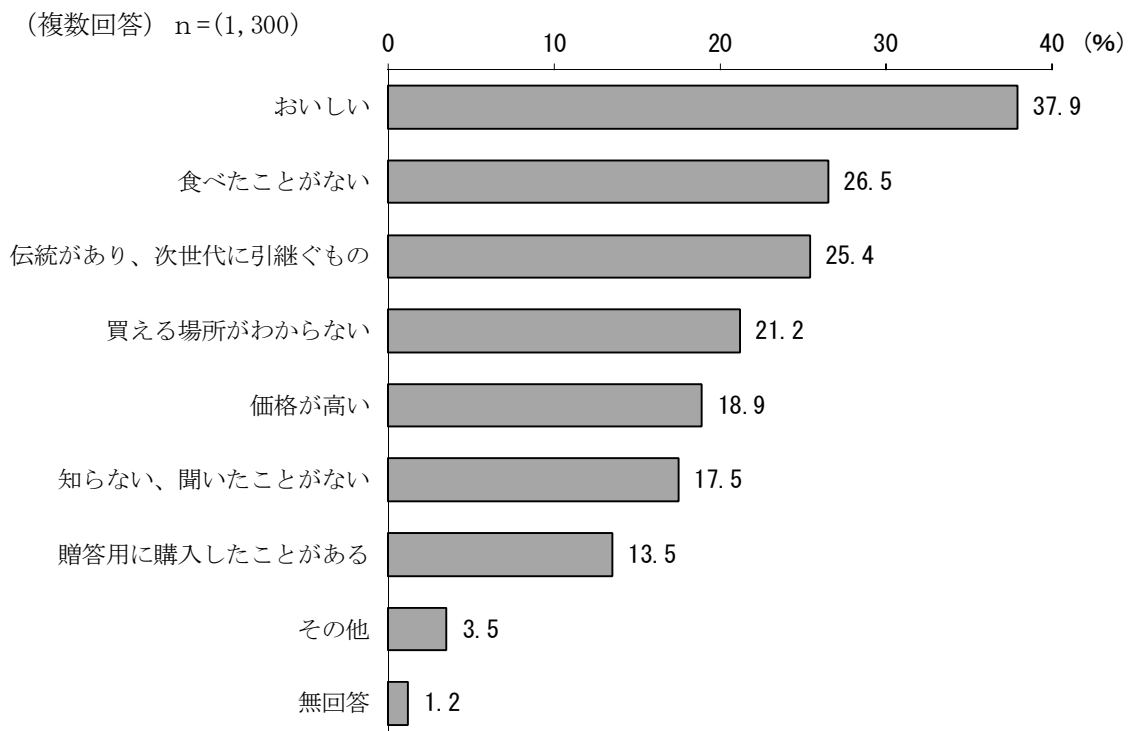
5-7 「多摩川梨」について

◎「おいしい」が37.9%

問 15 川崎市では、江戸時代の初期から多摩川沿いを中心に「多摩川梨」の生産が盛んに行われています。「多摩川梨」について、あなたにあてはまるものをお答えください。

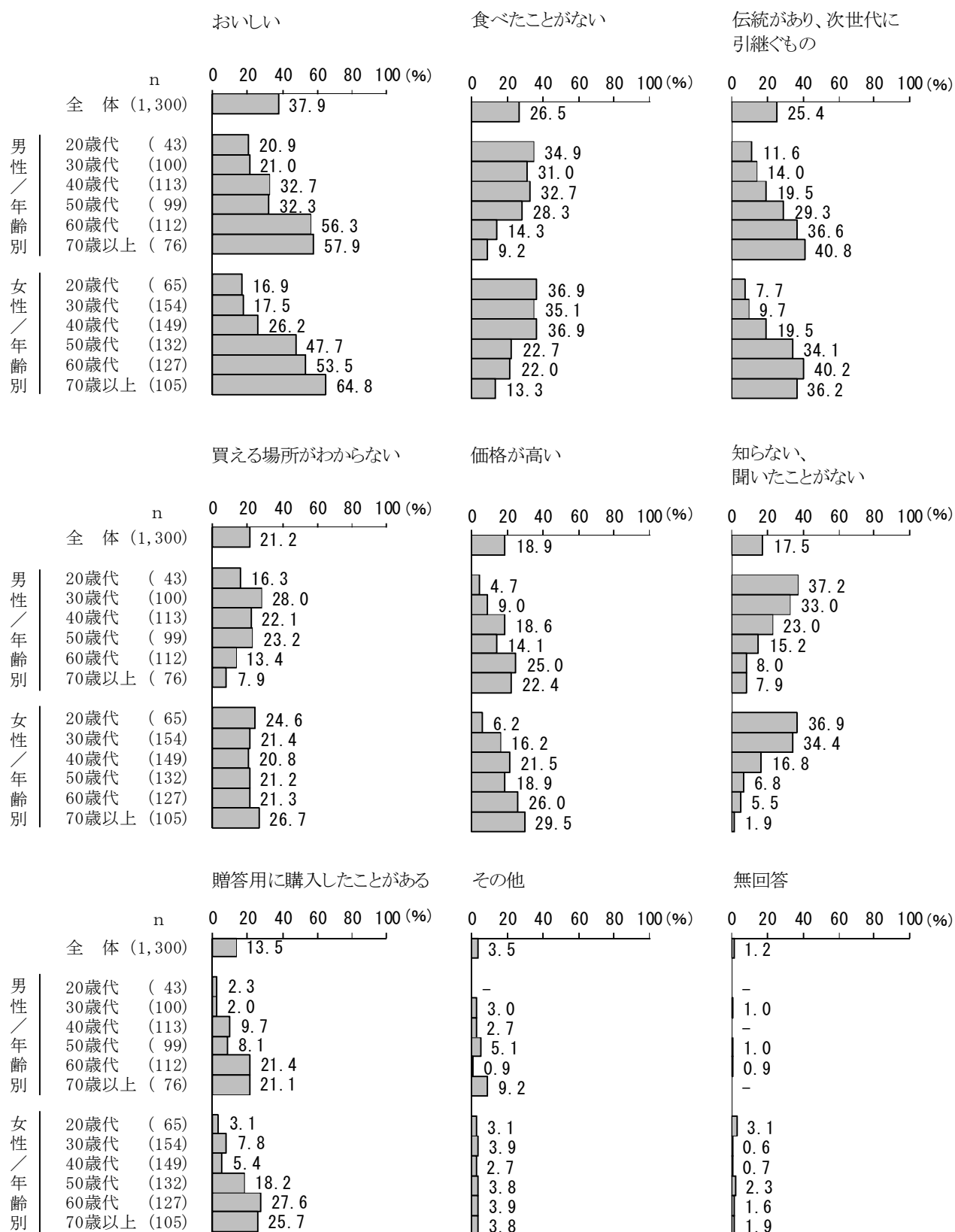
(あてはまるもの全てに○)

図表 5-23 「多摩川梨」について



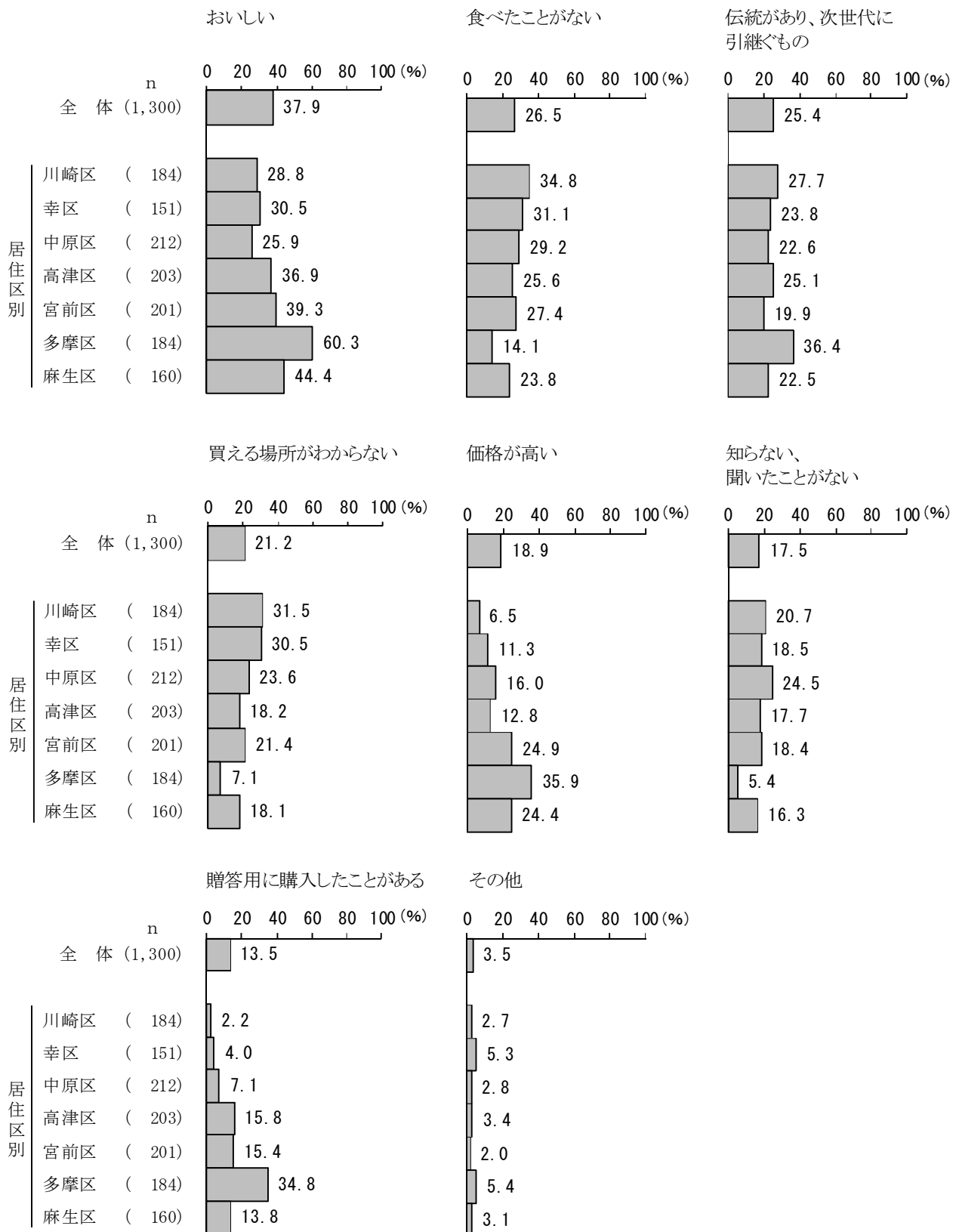
「多摩川梨」については、「おいしい」(37.9%)が最も高く、次いで「食べたことがない」(26.5%)、「伝統があり、次世代に引継ぐもの」(25.4%)、「買える場所がわからない」(21.2%)の順となっている。

図表5-24 「多摩川梨」について（性／年齢別）



性／年齢別では、「おいしい」は、女性の70歳以上（64.8%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（57.9%）、男性60歳代（56.3%）の順となっている。「食べたことがない」は、女性の20歳代と40歳代（36.9%）で最も高く、次いで女性の30歳代（35.1%）、男性の20歳代（34.9%）となっている。「伝統があり、次世代に引継ぐもの」は、男性の70歳以上（40.8%）で最も高く、次いで女性の60歳代（40.2%）、男性の60歳代（36.6%）の順となっている。

図表5-25 「多摩川梨」について（居住区別）



居住区別では、「おいしい」は、多摩区(60.3%)が最も高く、次いで麻生区(44.4%)、宮前区(39.3%)の順となっている。「食べたことがない」は、川崎区(34.8%)が最も高く、次いで幸区(31.1%)、中原区(29.2%)の順となっている。「伝統があり、次世代に引継ぐもの」は、多摩区(36.4%)が最も高く、次いで川崎区(27.7%)、高津区(25.1%)の順となっている。

5-8 川崎の農業に期待すること

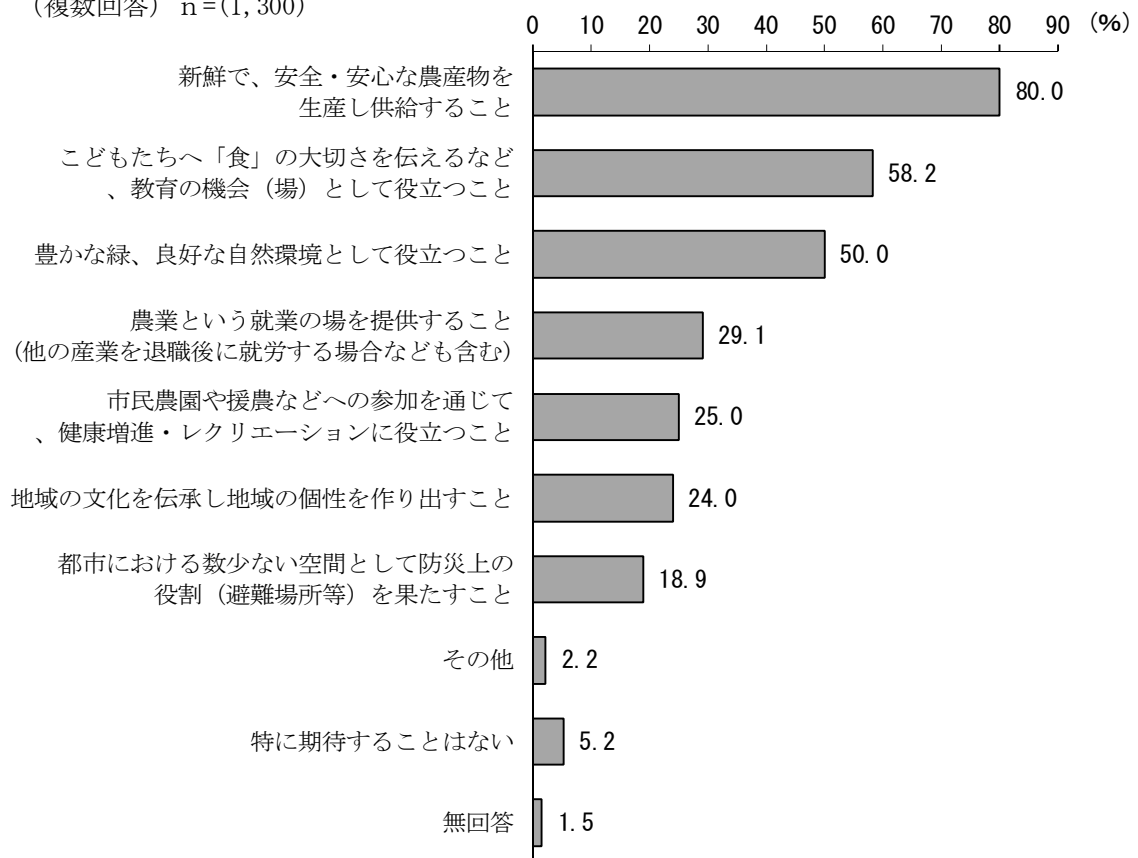
◎「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」が80.0%

問 16 農地（農業）は、新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給するほか、子どもたちに土とふれあう機会を提供したり、豊かな緑・良好な自然環境として役立つなど、いわゆる多面的機能と呼ばれる役割を持っています。あなたは、川崎の農業に何を期待しますか。

（あてはまるもの全てに○）

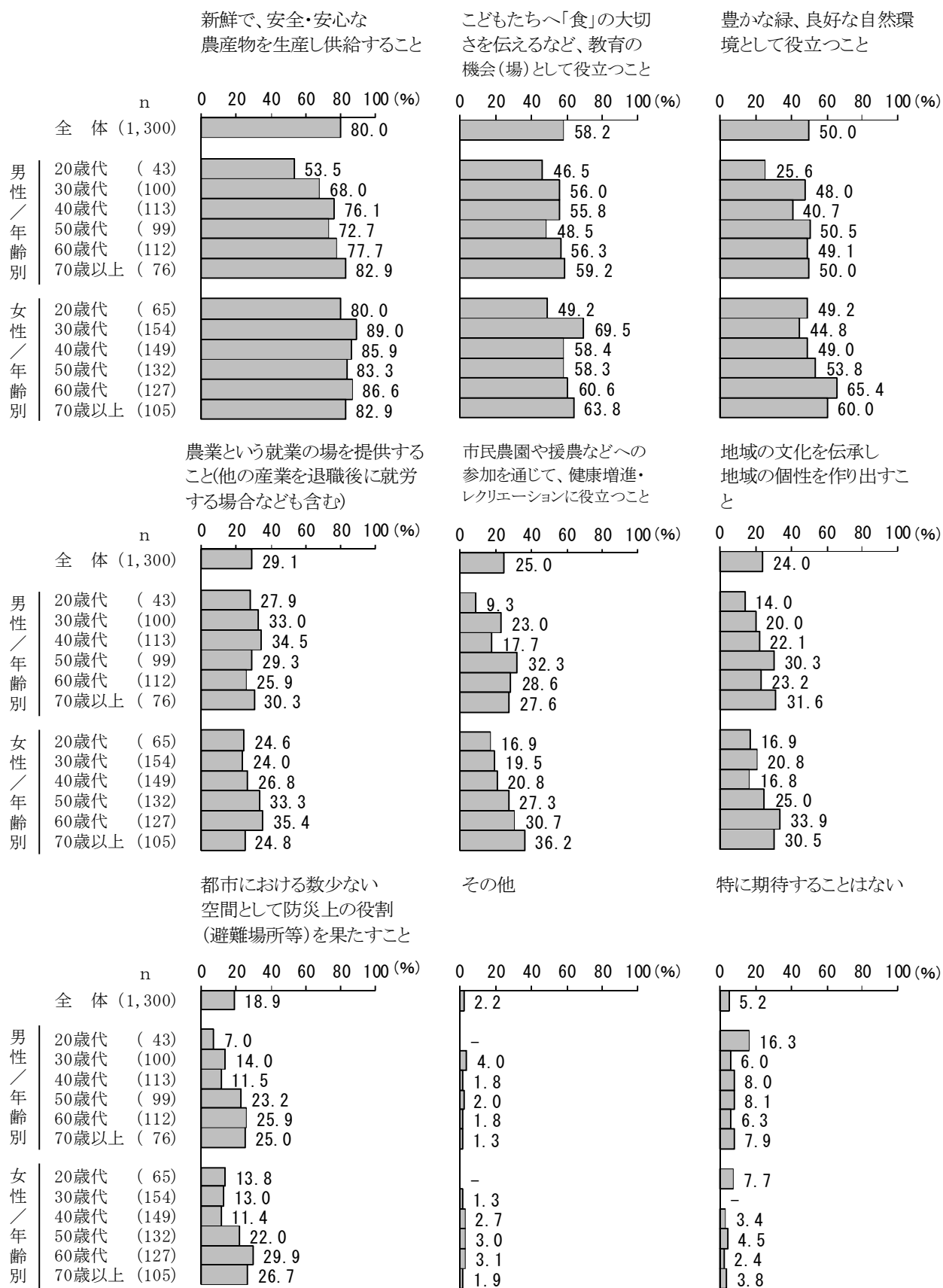
図表 5-26 川崎の農業に期待すること

（複数回答） n=(1,300)



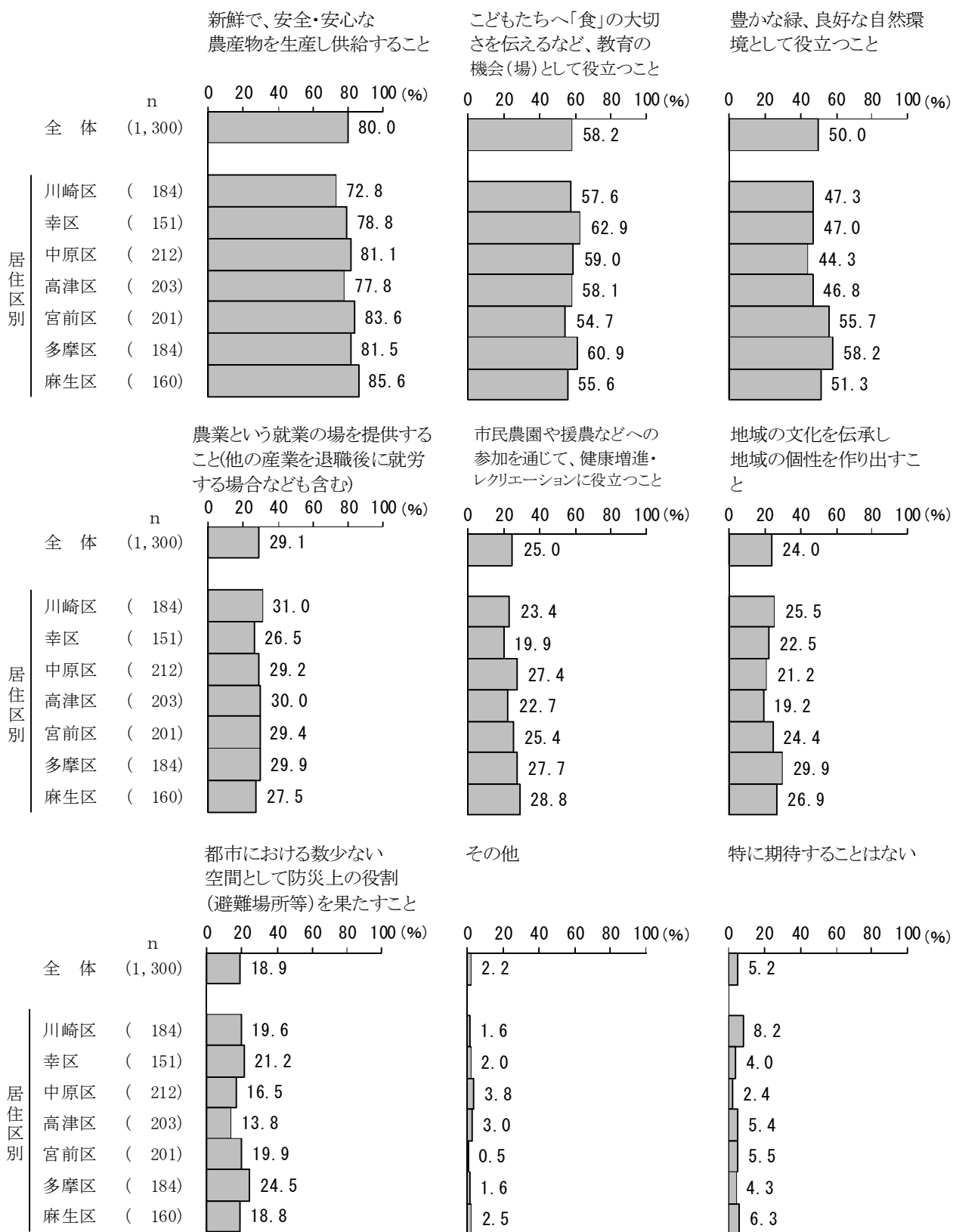
川崎の農業に期待することは、「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」（80.0%）が最も高く、次いで「子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会（場）として役立つこと」（58.2%）、「豊かな緑、良好な自然環境として役立つこと」（50.0%）の順となっている。

図表5-27 川崎の農業に期待すること（性／年齢別）



性／年齢別では、「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」は、女性の30歳代(89.0%)で最も高く、次いで女性の60歳代(86.6%)、40歳代(85.9%)の順となっている。「子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと」は、女性の30歳代(69.5%)で最も高く、次いで女性の70歳以上(63.8%)、60歳代(60.6%)の順となっている。

図表5-28 川崎の農業に期待すること（居住区別）



居住区別では、「新鮮で、安全・安心な農作物を生産し供給すること」は、麻生区（85.6%）が最も高く、次いで宮前区（83.6%）、多摩区（81.5%）の順となっている。「こどもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと」は、幸区（62.9%）が最も高く、次いで多摩区（60.9%）、中原区（59.0%）の順となっている。